

令和3年3月21日の大雨に関する 愛知県気象速報

目次

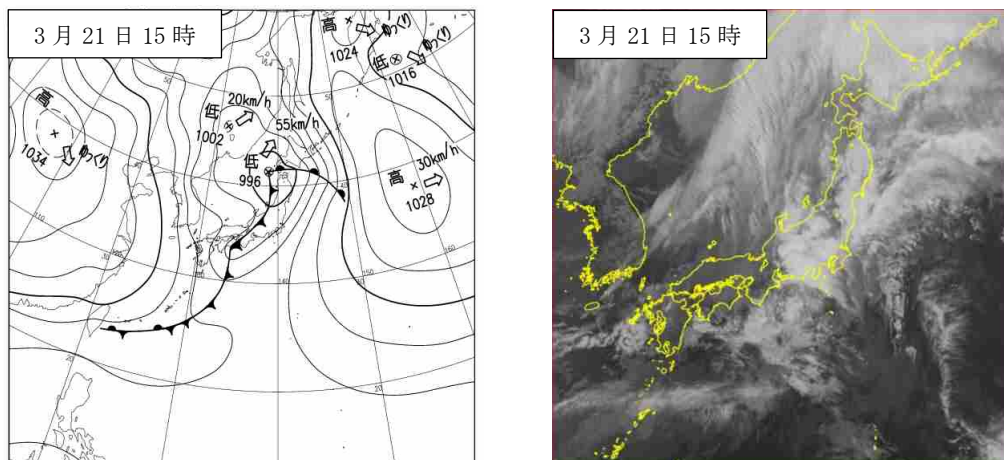
- 1 気象概況
- 2 大雨の状況等
- 3 発表情報

令和3年3月22日
名古屋地方気象台

注：本資料は速報として3月21日22時までの状況を取りまとめたものです。
後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

1 気象概況

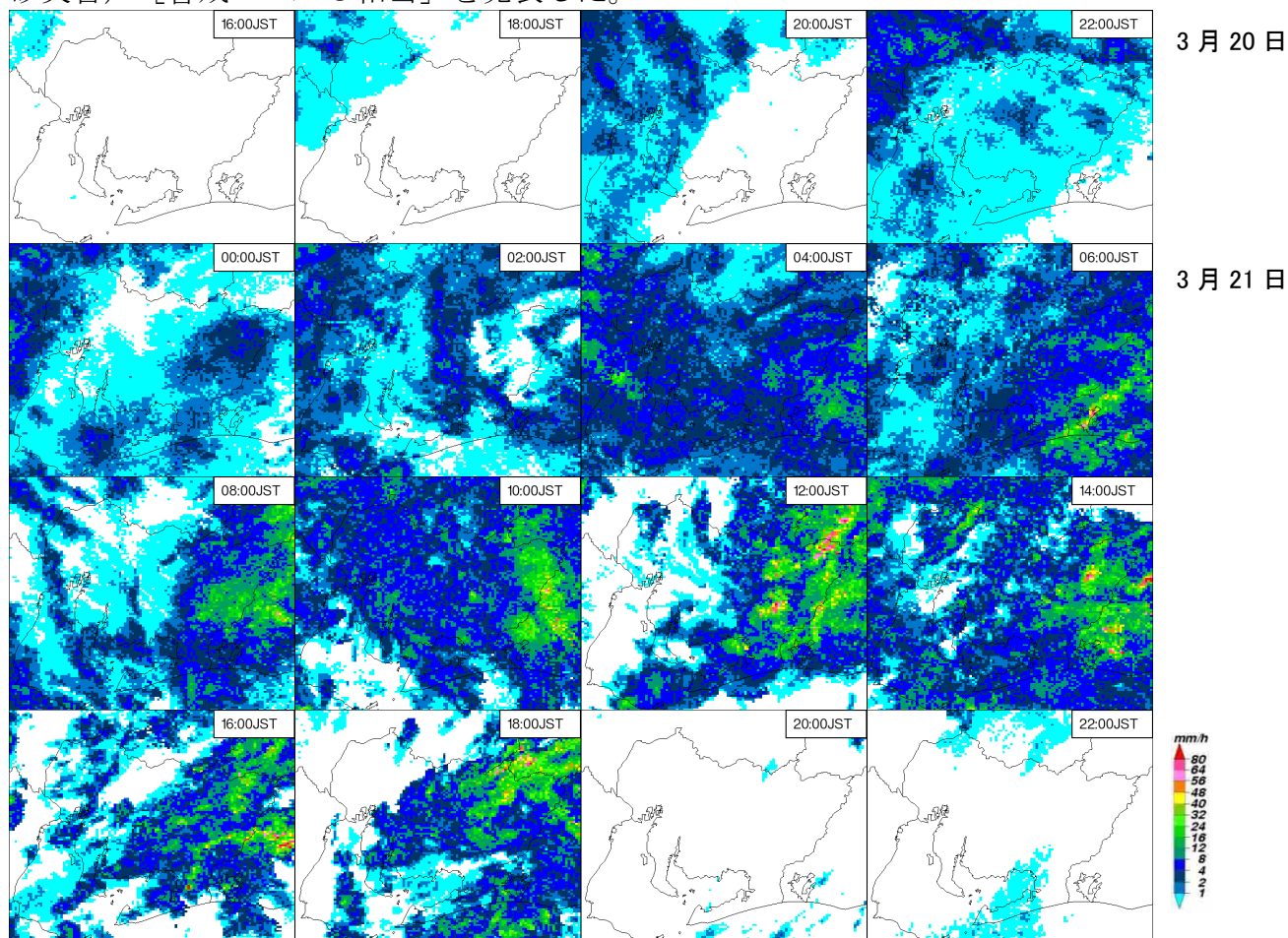
3月21日は、前線を伴った低気圧が日本海を北東に進み、この低気圧からのびる寒冷前線が東海地方を通過した。低気圧や寒冷前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、愛知県では大気の状態が非常に不安定となり、朝から夕方にかけて東部を中心に一時的に激しい雨が降った。



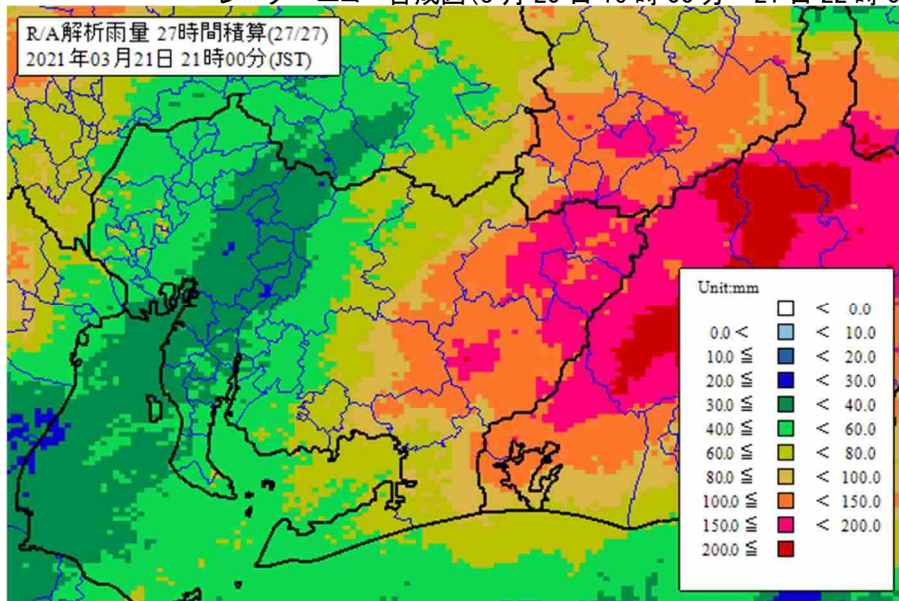
3月21日15時の地上天気図（左）と気象衛星赤外画像（右）

2 大雨の状況等

愛知県では、3月20日夜から雨が降り始め、21日朝から夕方にかけて東部を中心に一時的に激しく降った所があり、降り始めからの総雨量が多い所で150ミリを超えた。この大雨により、土砂災害の危険度が高まった新城市、設楽町、豊根村に大雨警報（土砂災害）〔警戒レベル3相当〕を発表した。

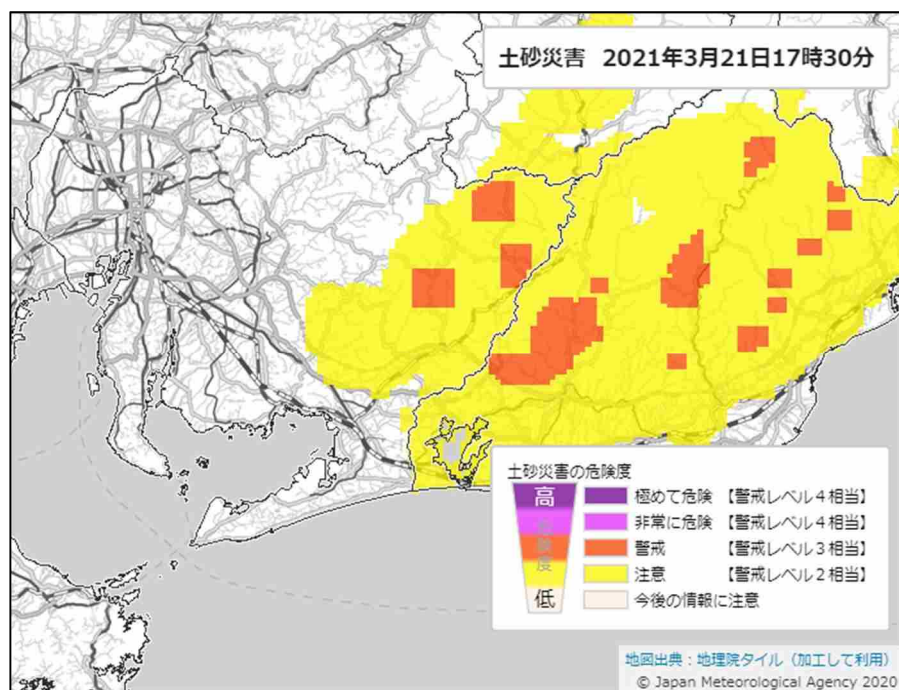


レーダーエコー合成図(3月20日16時00分~21日22時00分)



※ 解析雨量とは、気象レーダーとアメダス等の地上の雨量計により観測されたデータを組み合わせ、1km四方ごとに過去1時間の雨量を解析したものである。この分布の値は雨量計で観測された値ではなく、レーダーなどの資料も含めて解析した値のため、実際の雨量と異なる場合がある。

27時間積算解析雨量分布図
(3月20日19時~21日21時)



大雨警報(土砂災害)の危険度分布
(3月21日17時30分)

